

カテゴリ 震災の教訓
番号 A-02
催行期間 通年
所要時間 2 時間
キーワード 体験談
人の想い

— あなたならどうする? —

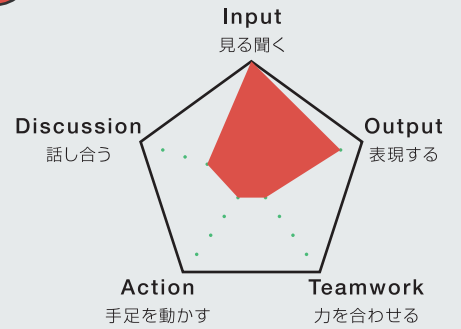
What would you do?



映像の一場面



学びのポイント



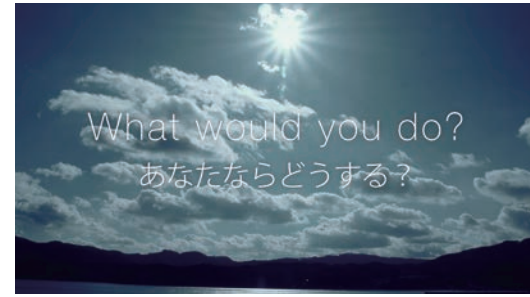
地域で再起し生き続けようとする人の想いを
自分に置き換えて考える



講師を囲んで体験談を聞く様子



講師の体験談の様子



映像の一場面 (タイトル)



概要

映像を見て、講師の話を聞き、メッセージを書きます

体験談を聞いて終わりではなく、自分の価値観と向き合ってみるプログラムです。

震災後、多くの人が仕事や住む場所を求めて町を出ていきました。そのような中、この町で再起し、生き続ける決意をした人がいます。彼らは、何を感じ、どんな信念があってその決意に至ったのか。

住民のインタビューをまとめた映像と、体験談を聞き、考えます。そして、今回のような災害が故郷や今住んでいる町で起こったら、あなたは町に残りますか?それとも別の場所に行きますか?あなたが一番大切にしたい価値観は何か、考えてみましょう。



講師紹介



町内で事業や町づくりに
取り組んでいらっしゃる方々

町づくりの会議を主宰している女性、震災後に新しい事業を始めた主婦、仮設住宅の自治会長を務める農家さん・・・この町で生きる住民の方にお話を伺います。

(講師は、研修の目的やご希望に応じて、コーディネートさせていただきます。)



タイムスケジュール

- 0:00 ~ 0:15 レクチャー
「南三陸町の現状」
- 0:15 ~ 0:30 映像視聴
「What would you do?」
- 0:30 ~ 1:00 地域の方の体験談
- 1:00 ~ 1:45 ワークショップ
「あなたならどうする?」
- 1:45 ~ 2:00 メッセージカード記入



インフォメーション

- 所要時間 2 時間
- 催行期間 通年
- 最少催行人数 10 名
- 最大人数 (別途ご相談) 50 名
- フィールド 入谷地区
- 持ち物 筆記用具

留意事項

・場所は「南三陸まなびの里いりやど」の他、ご希望の場所で開催可能です。
(プロジェクター、スクリーン、スピーカー必要)